

「不、是」と「えいい、いは」

「はい、いいえ」と「是、不」

李寛子

日本語教師としての本質的な関心の一つとして、自分の学生の母国語が何であれ、日本語に関する正確な知識を得させることでしよう。

中国語を母国語とするわが国の学生に日本語を教える場合、「はい」と「いいえ」のこの単純なことばにも、ただ「是」と「不」では解せない意味合いが隠れていることをよく説かなければなりません。

「はい」は「然り」ですが、何に対して然りなのか、また「いいえ」は「否」ですが、何に対して否なのか。それが問題です。また英語のように「yes」、「no」で簡単にかたずけることのできない中国語のいろいろな解釈法が出てきます。

たとえば Martin は「はい」と「いいえ」は「あなたのおっしゃったことは正しい」、「あなたのおっしゃったことは正しくない」を意味する。したがって、もし質問が否定形で発せられれば、日本語の標準の答えは英語の標準の答え「yes」、「no」の逆となる。「yes」、「no」が事実そのものを肯定否定するのに対して「はい」「いいえ」は事実の陳述を肯定否定するからである。もし否定疑問文が婉曲的な依頼を表わす際には、英語と同様「はい」は承諾、「いいえ」は拒絶を表わすと説明しています。

日本語と中国語の否定は、質問あるいは質問者の気持ちに向けられています。英語の否定は、現在の行為の有無に向けられています。

「no」はそれ自体が名詞として使われますが、日本人は否定というものを抽象化して考えないということから「いいえ」

は感動詞であつて、名詞として用いられることはありません。

ですから英語では否定の場合は、はっきりと「No」と言えますが、日本語と中国語の場名は、質問者の気持ちに向けられることに会話の場合きつぱり否定したりすると、相手の気持ちを損ねないとも限らないので、否定は自然に控え目になります。

つまり相手への配慮から、時と場合に依つて「いいえ」「ない」「いえ」「いや」「ううん」などのニュアンスを異にする否定の表現をえらび、気分をこわすまいと努力するのです。

しかしその控え目な歩合も日本語と中国語とでは少なからずれがあります。中国人は欧米人ほどきつぱり否定はしません、日本人のように内容にもよりますが、はっきりと断ることができなく、無意識に声を落として無責任な態度をとつていと誤解を招くことはありません。

長く日本に住んでいるベルギー人の神父グローター氏が森本哲郎氏に日本人と中国人が話しているところを見れば、話のあいだじゅうなずいているのが日本人、けつして首を動かさないのが中国人だと話しています。いわれて見れば確かにそうで、日本人は相手は何かを言明しないうちからもうなずいています。

しかしそれは必ずしも相手の意見に賛同しているわけではなくて、「自分はあなたの言うことをこのとおり傾聴している」といつているにすぎません。日本人のうなずきは肯定とは限らないのですが、外國人は自分の意見に共鳴していると受けとつてしまうのです。

中国語では否定形の質問、念押しには「是、否定形」 「不、肯定形」になるのは日本語と同じです。

たとえば「買わないんですか。」 「不買嗎？」

「はい、買いません。」 「是、不買。」

「いいえ、買います。」 「不、要買。」

「書かないんですか。」 「不寫嗎？」

となります。

「はい、書きません。」 「是、不寫。」

「いいえ、書きます。」 「不、要寫。」

相手の質問に対して、同意するかしないかで、「是、不」が決るのであって、答えの内容とは関係がありません。したがって、相手の同意を求める場合の否定形の質問すなわち、

「いっしょに行きませんか。」 「不一起去嗎？」

「はい、行きましょう。」 「好、一起去吧！」

「台北はたいへん暑いんですか。」 「台北不是很熱嗎？」

「はい、たいへん暑いです。」 「是、很熱。」

のように、

「はい」「いいえ」が常に話し手の感情、応答の表現であって、第二人称や第三人称の感情や応答を表現できないことは、きわめて明らかです。

例解国語辞典と角川国語辞典には「はい」と「いいえ」について次のように出ております。

例解国語辞典 中教出版

いいえ、(感) (はい、ええの対) 否定の意味を表わす。

・ご飯を食べますか。 いいえ、食べません。

・あなたは山田さんですか。 いいえ、橋本です。

はい、(感)

(1)名を呼ばれて答える時に言うことば。

山田君、はい。

はい、おっしゃるとおりです。

(2) 注意をうながす声。

はい、話をやめて聞きなさい。

(3) 馬を進ませる声。

はい、はい、どう、どう。

角川国語辞典

いいえ(感) ていねいなうち消しのことば。

そうではない、いや。

はい、(感)

(1) 応答のことば (おう、うん、ええ、などよりていねい)。

(2) 注意をうながすことば。

はい、つぎの者は用意しなさい。

(3) 馬を追うことば。

はい、はい。

例解国語辞典、角川国語辞典の不完全な語訳だけを頼りにしようものなら学習者はかなり理解に苦しむでしょう。そこで総合日華大辞典と永大当代日華辞典を参考にしてみますと

総合日華大辞典

いいえ(感) (用於回答) 不、不是、没有

いいえ、どういたしました。不、没有关系、豈敢豈敢。

いいえ、それには及びません。不、謝々、用不着。

いいえ、もう沢山です。不、够了。

肉はお嫌いですか。いいえ、好きです。

你不喜歡吃肉嗎？ 不、喜歡。

はい（感）

①（答应声）有、到、是。

山田君、はい、 山田君、有、到。

はい、おっしゃるとおりです。是、你說得一点不錯。

②（提醒注意）喂。

はい、こちらを向いて。喂、面向这边。

はい、これでよろしい。好、这就成了。

③（驅馬声）

はい、はい、どうどう。

永大当代日華大辞典

いいえ（感）不、不是（比較客氣的表示否定的詞）

いいえ、お礼には及びません。不、不必道謝。

いいえ、もうたくさんです。不、已經够了。

いいえ、どういたしました。不、豈敢豈敢。

はい(感)

①(答応声)有、到、是。

はい、おっしゃるとおりです。是的、你說得对。

はい、分かりました。是、我懂了。

②(提醒注意)喂、来。

はい、次のページを見てください。喂、請看下一頁。

③(駭馬声)

はいしい、はいしい、駕駕。

と出ています。

「いいえ」の訳は「不」「不是」ですが、例文の「いいえ」はみんな「不」で訳されているのに対し、「はい」は例文も訳も例解国語字典と全く同じで、「有、到、是、喂」と訳されております。

では「はい」は中国語で「有、到、是、喂」、「いいえ」は中国語で「不」と訳すのだと断言できるでしょうか。

まず「不」と「不是」、「是」と「是的」の違いを考えて見ましょう。

「はい、そうです。一を「是、是的」と訳し、「いいえ、そうじゃありません。」を「不、不是」と訳せば、「はい」が「是」、「そうです」が「是的」で、「いいえ」が「不」、「そうじゃありません」が「不是」です。

例を挙げますと

甲「喂！林公館嗎？」

乙「是、請問哪一位？」「是的、請問哪一位？」

乙の答え方に「是」「是的」の二とおりが見られます。

では「是」と「是的」は全く同じ意味を表わすかどうかを考えて見る時、「是」は相手の質問に対して同意を示し、「是的」は答えの内容の肯定を表わすものだと思われま

す。ですから否定を表わす「不」と「不是」も、「不」は相手の質問に反対を示し、「不是」は答えの内容の否定を表わすものと解釈してもさしつかえないでしょう。

又「はい」は品物を手渡す時に使われますが、手渡す行為が何等かの意味で、相手の意に叶うという予想が立つ時に限られます。

日本では点呼の返事は「はい」一点張りです。「はい」は相手の言ったこと、伝えんとすることが、こちらにはっきり届いたということを敬意をもって表示するための応声です。ですから点呼の時に「はい」を使うのは当然でしょう。

しかし中国語の点呼の返事は例外で、「是」も「好」も不適當とされ、「有^有」とか「到」とかの言葉をもって答えられま

す。す。①本に書き入れてもいいですか。

はい、(書き入れてもいいです。)

いいえ、(書き入れてはいけません。)

可以寫在書上嗎?

可以、(可以寫在書上)

不可以、(不可以寫在書上)

② 今日学校へ行きますか。

はい、行きます。

いいえ、行きません。

今天要去学校嗎？

要去。

不要去。

③ テレビのニュースを見ましたか。

はい、見ました。

いいえ、見ませんでした。

看了電視新聞嗎？

有、看了。

不、沒有看。

④ これは舶来品ですか。

はい、舶来品です。

いいえ、舶来品じゃありません。

這是舶来品嗎？

是舶来品、

不是舶来品。

⑤ 今行きましようか。

「不、是」と「えいい、いは」

はい、行きましょう。

いいえ、今行ってもむだです。

現在去好嗎？

好、現在去吧！

不好、現在去也沒有用。

⑥分りましたか。

はい、分りました。

いいえ、分りません。

懂了嗎？

懂了。

不懂。

◎中国語では「懂了嗎？」ときかれた場合「是、懂」とは言いません。又「不、不懂」とも言いません。ここでは「は

のスーパーへ行きませんか。

はい、行きません。

いいえ、行きませす。

要不要去超級市場呢？

不要去。

要去。

◎中国語の否定質問、念押しには「是、否定形」「不、肯定形」になるのは日本語と同じです。

⑥と同様に「はい」「いいえ」に相当する「是」「不」は省略されます。

⑧もう少し召しあげませんか。

はい、ありがとうございます。

はい、もう少しいただきます。

いいえ、もう結構です。

いいえ、もういただきます。

要不要再吃一点？

好、謝々。

好、再吃一点々。

不、已够了。

不、不再吃了。

◎⑧は⑦と同じように否定形の質問にもかかわらず、答えが（是、肯定形）（不、否定形）になっています。

構文法上は否定形ですが、意味上は否定疑問文ではないので、自己の意志に従って「はい」「いいえ」を使うのです。

⑨字引を持ってきてくださいませんか。

はい、かしこまりました。

いいえ、ここにはございません。

能不能給我拿字典來？

好、遵命。

不、這裏沒有。

◎否定疑問文が婉曲的な依頼を表わす際には「はい」は承諾、「いいえ」は拒絶を表わします。

⑩ 昨日学校へ行きませんでしたか。

はい、行きませんでした。

いいえ、行きました。

昨天没有去学校嗎？

是、没去（了。）

不、去了。

⑪ 昨日台中へ行ったんじゃないやありませんか。

はい、行きました。

いいえ、行きませんでした。

昨天是否去了台中？

有、去了。

不、没去（了。）

⑫ 昨日台中へ行かなかったんじゃないやありませんか。

はい、行きませんでした。

いいえ、行きました。

昨天是否没去台中？

是、没去(了。)

不、去了。

◎⑪と⑫は構文法上は否定疑問文ですが、意味上はそうではありません。この場合に被質問者は、

「あなたの予想は正しい」「あなたの予想は正しくない」の意味で「はい」「いいえ」を使うのです。

⑬「いつまでもテレビを見ていないで、早く勉強しなさい。」

「は——い。」

「別一直看电视、快念書。」

「好了。」

◎けっして承諾した気持ちを表わしているのではなく、不服を訴えています。

⑭ A. 「たばこをください。」

B. 「はい、どうぞ。」

B. 「二百円いただきます。」

B. 「千円おあずかりいたします。」

B. 「はい、八百円お返しいたします。どうもありがとうございました。」

A. 給我香煙。

B. 諾！ 請。

B. 收兩百元。

B. 我接受一千元。

B. 諾！ 找八百元、謝々。

◎品物を渡したり、おつりを客に渡す場合、手渡す行為が何等かの意味で、相手の意に叶うという予想が立っています。

⑮先生「張秀雄さん」

張「はい」

老師「張秀雄」

張「到」「有」

◎点呼の返事は「是」「是」は使われず「到」とか「有」とかの言葉で答えられます。

以上の十五例に使われている「はい」「えいい」の中国語訳はつぎのとおりです。

- | | | | | | | | | | | |
|------|-----|------|------|---------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| ① 可以 | ② 要 | ③ 有 | ④ 是 | ⑤ 好 | ⑥ 省略 | ⑦ 省略 | ⑧ 好 | ⑨ 好 | ⑩ 是 | ⑪ 有 |
| 不可以 | 不要 | 没有 | 不是 | 不好 | ⑥ 省略 | ⑦ 省略 | 不好 | 不 | 不 | 不 |
| 不 | 是 | ⑬ 好了 | ⑭ 諾! | ⑮ 到、(有) | | | | | | |

ですから「はい」は「可以、要、有、好、是、好了、諾、到(有)」「えいい」は「不可以、不要、没有、不是、不好、不」と訳され、字引に出ている訳だけではないことを学生に納得させなければ充分ではないと思います。

又「はい」と「ええ」の区別も同時に説明しておくべきでしょう。なぜなら「ええ」は「はい」と全く同じだと解釈されたり、あまり問題にされていないのが現状だからです。多くの国語学者の著作にも日本語教師に直接手助けになるような説明はあまりなされておられません。

ここで北川千里さんの言葉を借りますと、「ええ」は相手の言ったことに対しての自分の気持の動きを表出する声であって、下降のイントネーションではっきり言い切る場合には「自分もそのように思う」という気持を表出することになる。上昇

のイントネーションの場合には疑問、反問、罵きなどを、また平坦に伸ばすような場合には「何か判然としないのだが」というような含みを表示することになると思う。とあります。

この説に従い、前述の十九例の「はい」を「ええ」と置きかえることができるのは①から⑫までで、⑬⑭⑮は不適當だと言えましょう。⑯の不服を許している返事に、⑰の品物を渡す場合に、又⑱の「張秀雄さん」と呼ばれて「自分もそのように思う」と答えるのが不自然であることを思えば「ええ」が「はい」の代理を完全につめることができるとは断言できません。

「はい」と「ええ」が単に丁寧さということだけでなく、意味合いの上においても異っていることは見逃せない事実であります。日本語では一つの言葉で表わされるのに中国語ではいくつもの言葉があり、又その反対の場合もあります。教師はこの点によく気を配り、その意味領域を指摘して正確な知識を得させるべきだと思います。

態語動被的文法